

不良債権等への対応

当金庫では、不良債権の発生を最小限に抑え、貸出資産の健全性を高めるため、審査態勢の強化に努めるとともに、信用リスク管理態勢の充実を図っております。

リスク管理債権の引当・保全状況

(単位:百万円)

区分	残高(A)	担保・保証(B)	貸倒引当金(C)	保全率(B+C)/(A)
破綻先債権	平成16年度	423	99	100.0%
	平成17年度	462	91	100.0%
延滞債権	平成16年度	2,108	1,217	95.2%
	平成17年度	2,354	980	93.4%
3カ月以上延滞債権	平成16年度	17	1	100.0%
	平成17年度	17	1	100.0%
貸出条件緩和債権	平成16年度	948	123	69.2%
	平成17年度	1,206	234	55.3%
合計	平成16年度	3,499	1,441	88.4%
	平成17年度	4,041	1,308	79.4%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■項目の説明

- (注)1.「破綻先債権」とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により、元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(未収利息不計上貸出金)のうち、次のいずれかに該当する債務者に対する貸出金です。
- ①会社更生法又は金融機関等の更生手続の特例等に関する法律の規定による更生手続開始の申立てがあった債務者
 - ②民事再生法の規定による再生手続開始の申立てがあった債務者
 - ③破産法の規定による破産の申立てがあった債務者
 - ④商法の規定による整理開始又は特別清算開始の申立てがあった債務者
 - ⑤手形交換所による取引停止処分を受けた債務者
- 2.「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金のうち次の2つを除いた貸出金です。
- ①上記「破綻先債権」に該当する貸出金
 - ②債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金
- 3.「3カ月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しない貸出金です。
- 4.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しない貸出金です。
- 5.なお、これらの開示額は、担保処分による回収見込額、保証による回収が可能と認められる額や既に引当てている個別貸倒引当金を控除する前の金額であり、全てが損失となるものではありません。
- 6.「担保・保証額」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 7.「貸倒引当金」については、リスク管理債権区分の各項目の貸出金に対して引当てた金額を記載しており、貸借対照表の残高より少なくなっています。
- 8.「保全率」はリスク管理債権ごとの残高に対し、担保・保証、貸倒引当金を設定している割合です。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区分	開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率(b)/(a)	引当率(d)/(a-c)	
金融再生法上の不良債権	平成16年度	5,676	4,977	3,526	1,450	87.6%	67.4%
	平成17年度	6,829	5,381	4,066	1,314	78.7%	47.5%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成16年度	1,911	1,911	1,519	392	100.0%	100.0%
	平成17年度	1,925	1,925	1,523	401	100.0%	99.7%
危険債権	平成16年度	2,197	1,973	1,040	933	89.8%	80.6%
	平成17年度	2,284	1,995	1,319	676	87.3%	70.0%
要管理債権	平成16年度	1,567	1,092	967	125	69.6%	20.8%
	平成17年度	2,619	1,460	1,223	236	55.7%	16.9%
正常債権	平成16年度	91,963					
	平成17年度	89,963					
合計	平成16年度	97,639					
	平成17年度	96,793					

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■項目の説明

- 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3.「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位:百万円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
一般貸倒引当金	平成16年度	367	251	—	367	251
	平成17年度	251	342	—	251	342
個別貸倒引当金	平成16年度	1,103	1,316	7	1,096	1,316
	平成17年度	1,316	1,071	0	1,316	1,071
合計	平成16年度	1,471	1,567	7	1,464	1,567
	平成17年度	1,567	1,414	0	1,567	1,414

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸出金償却の額

(単位:千円)

	平成16年度	平成17年度
貸出金償却	190,499	42,237

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。